



3月 保育室 すまいるだより

2022.3. NO.35
保育室 すまいる

<月のテーマ：大きくなる>

年齢別 月の保育のねらい

<0歳児>

○友だちを覚えて友だちの名前を呼ぼうとする。

<1歳児>

○自信をもって生活を楽しむ。

<3歳児>

○アイディアを出し合い、遊びを充実させる。

<4歳児>

○いろいろな友だちとかかわりを深めながら、遊びや活動を楽しむ。

<5歳児>

○仲間と共に見通しをもって自分たちの生活を組み立て、保育室での生活を満喫する。

<学童>

○季節の変化を感じ、春を見つける。

<3月の歌>

ハッピー
チルドレン



<地下鉄と仙石線に乗って…自分で切符を買う経験！～どろろんさいからの手紙～>

どろろんさいからの手紙をそれとなく毎日待っている子どもたち、封筒をみつけた Y ちゃん、「どろろんさいからののがみ、みつけたよ」とみんなに報告。早速手紙を開けてみる。中を読んでみると、今度小学校に行く忍者たちへと書いてある。「ぼく、6歳だから今度一年生になる」と H くん、「6歳の方は後は、K.N くん、K.A くんだね」ちゃんと自分たちが小学生になることを自覚している H くん、K.N くんでした。『地下鉄に乗って、仙石線に乗ってうみの杜水族館に行ってこいに餌をあげてくるのだ。よいな。』

という内容に「地下鉄に乗るんだって・・・」「仙石線に乗って事あるよ」と大張り切りでした。

当日、行く気満々の3人組、「行く準備をして・・・」の声掛けにあつという間に準備が終わって元気よく「いってきまーす！お留守番頼むね！」とお留守番の友だちに声をかけ、「気を付けてね！いってらっしゃい！！」と声をもらい出発しました。

今回は公共の乗り物に乗る経験、切符を自分で買う経験をするのも目的の一つでした。

地下鉄乗り場につくと、切符を買う準備です。お財布を出して、お金を出して、自動販売機にお金を入れて・・・最初は、どうしたらよいか戸惑っていた3人組でしたが、帰りの仙石線や地下鉄の切符を買うのはスムーズでした。経験は必要ですね。お金を使わないで物を買うことができちゃう世の中です。お金、おつりなどを知らない子どもたちがいるそうです。

自分でお金を使って買う経験、実は大切な経験です。経験できる機会を作ってあげましょう。大人の親切な思いで、お金を地下鉄代、仙石線代、うみの杜水族館の入場料と小袋に入れて用意しちゃいがちですが、子どもにとってはかえってわかりにくく、また子どもたちの経験にはなりません。最初は小銭でおつりがないように準備してあげることが必要だと思います。必要なお金をお財布から探して使う経験をさせてあげましょう。

